

成田

滋賀県議会議員 **セイリユウ**



県議会活動レポート

Vol.12
2010年秋号

プロフィール

唐崎中、膳所高、龍谷大学法学部政治学科 卒業
同志社大学大学院総合政策科学研究科 終了
民主党滋賀県総支部連合会 青年局長
滋賀県議会議員（大津市選挙区） 1期

大津市消防団唐崎分団 団員
唐崎学区体育振興会 常任理事
唐崎学区スポーツ少年団 事務局
スペシャルオリンピックス日本
滋賀設立準備委員会 事務局

大津子ども環境探偵団エコーリーダー幹事
社団法人大津青年会議所 事務局長
滋賀県トランポリン協会 会長

(自宅) 〒520-0106 滋賀県大津市唐崎1-20-28 TEL/FAX 077-578-8913 e-mail mail@narinari.net URL http://www.narinari.net

成田セイリユウから、みなさまへのお願い

- 滋賀県・大津市に関するご質問、ご意見をお寄せください。
- 活動や報告についてのご意見、ご感想をお待ちしております。
- 成田セイリユウ後援会に入会いただくと、定期的に県議会活動レポートを送付いたします。ぜひともご参加ください。
- ボランティアスタッフを募集しております。



九月定例会 一般質問

今定例会で質問をした、防災・環境の課題はどちらも、未然に予防を行うと、将来への負担が大きく減らすことが可能です。
未来に責任のある政治の実現を！

耐震状況

公共施設：75.4% ▶ 100% (平成29年末)
(内訳)
庁舎：66.4%
消防署等：73.8%
文教施設：79.4%
全国平均：70.9%

災害時要援護者避難支援の取組方針

68.9% ▶ 100% (平成23年末)
全国平均：63.1%

自主防災組織率

85.2% ▶ 95% (平成26年末)
全国平均 73.5%

防災対策について

- ▶ **成田** (仮称) 危機管理センターにどのような機能を持たせるのか、整備時期は？
- ▶ **知事** 災害や危機事案の発生時に、被害状況を一元的に集約し、緊急対策を決定ができ、自衛隊や警察、消防等の関係機関との連携を図ることができるなど、迅速・的確な対応ができる災害対策の中核施設として機能性の高いものが必要であり、また地域防災力を高めるため、県民の危機管理意識や防災力・減災力を高める研修・啓発施設としての機能、子どもたちの学びの場なども備える必要があり、平成26年度を目標に整備計画の具体化を進めたい。
- ▶ **成田** センターを中心に、縦割りを超えた、危機管理体制の一元化が必要であるが？
- ▶ **知事** 地震だけでなく、感染症対策、治水対策などを含めて、縦割りではなく、横につないで、いざという時の発災時の対応、それから日常の連携が大変大切である。その為の危機管理センターの中身を充実させて、情報管理、行動計画、広報の拠点にもしていきたい。
- ▶ **成田** 地域の防災力の向上は非常に大切であるが、自助・共助による地域防災の向上にむけてどのように取り組んでいけるのか？
- ▶ **知事** 県として、自治振興交付金による自主防災組織の資機材整備の支援、地震防災出前講座等による普及啓発、自主防災組織活動マニュアルの作成等による組織作りの推進をしているが、今年度、新たに地域の構成員が連携・協働した減災活動の仕組みづくりを検討している。
- ▶ **成田** 災害につよい森林づくりを目指した取り組みはどのようなことを行っているのか？現在拡大しているナラ枯れの対策は土砂災害防止においても重要であるが、今後の対策は？
- ▶ **琵琶湖環境部長** 森林の多面的機能を行動に発揮させる森林づくりをめざし、適正な管理を進めている。針広混交林への誘導を目的とし、強度間伐を実施し、保安林を追加指定、適正管理を行い、災害に強い健全な森林づくりに努める。ナラ枯れは平成19年度の11.21haの実損面積が、今年は30ha程度になるものと推定している。倒木による人や建物への被害防止、景観対策において市町から要望があった場合には、被害木を伐り倒しての害虫駆除や樹幹への薬剤の注入等を補助事業として実施している。



資源循環型社会づくりについて

- ▶ **成田** 第三次廃棄物処理計画の策定にあたって、廃棄物の発生抑制と資源化仕組みづくり、ごみの不法投棄や不適正処理の防止・改善をどのように盛り込もうとされているのか？
- ▶ **知事** 県民や事業者との協働を根本に「みんなで築く資源循環型社会」を基本的な方向とし、排出抑制、資源循環および適正処理に係る取り組みを進めてきたが、より一層、充実・強化していく。また地域住民や事業者との通報等を含む協働による監視・通報体制を整備し、警察、市町等の関係機関をはじめ、近隣府県との連携を強化することにより、不法投棄をさせない地域づくりを目指していく。
- ▶ **成田** 資源循環型社会に対してどのようなイメージを持たれているのか？
- ▶ **知事** 地域の中で資源が無駄なく使い回しをされ、活用されている社会をイメージ。この循環型社会に加えて、低炭素社会、自然共生社会の3つの柱を備えた持続可能な社会を構築し、自然豊かで安心して暮らせる滋賀を子や孫の世代に引き継いでいきたい。
- ▶ **成田** 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進にあたって、これまでの取組は？
- ▶ **琵琶湖環境部長** 一般廃棄物では、市町担当職員を対象としてごみ処理における資源化の先進取組やコスト削減などについての講習会の開催、減量マニュアルの作成等の市町への支援等の取り組みを進めた。産業廃棄物については、資源化技術開発支援や排出事業者への資源化施設整備支援などにより、産業廃棄物の減量に取り組んできている。
- ▶ **成田** 不法投棄の滋賀県における現状は？ 大津市、他府県との連携がどうなっているのか？
- ▶ **琵琶湖環境部長** 平成17年度の260件から平成21年度には147件と年々減少傾向にある。最近の不法投棄の特徴は、大規模で組織的な不法投棄から、人目に付かない場所や時間帯に小規模に投棄するなどの巧妙な事案になっている。近隣府県と不法投棄対策に係る情報交換あるいは事例研究等を行っており、廃棄物積載車両の路上検査を隣接府県および大津市等と共同で実施、特に大津市とは適宜情報交換を行うなどの取組を通して、相互の連携強化を図っている。

インターンシップを経験して

立命館大学 法学部 山下さくら

わたしは8月と9月の間、成田議員のもとでインターンシップをさせていただきました。その内容は、議会や各委員会、政調会の傍聴をはじめとし、地域の納涼祭や、子どもたちのキャンプへの参加と、多岐にわたるものでした。

この活動を通じ、活動の地道さや、県政の問題を日々学ぶという議員の姿勢を知ることができました。共に行動させていただき、政治家も1人の人間であり、メディアを通じた姿がすべてではないと感じた2ヶ月間でした。



インターン生による模擬議会を開催

活動アルバム

